

[投稿について]

- 本誌では“看護および関連領域”からの投稿を受け付けております。「臨床看護研究」「事例報告」等、臨床看護に関する内容であれば論文の形式は問いません。日ごろの研鑽の成果をぜひ本誌にお寄せください。お待ちしております。
- 原稿締切日は特にもうけておりません。随時受け付けておりますので、下記宛に原稿2部（オリジナル1部、コピー1部）を書留郵便でお送りください。なお、封筒には「投稿」と朱書してください。
- 原稿の採否は、編集会議で決定し、ご通知致します（原稿は採否にかかわらず原則として返却致しませんので、必ずコピーをお取りください）。なお、他誌に発表済み、投稿中、投稿予定の原稿はご遠慮願います。
- 原稿には必ず表紙をつけ、論題名、執筆者名（ローマ字綴り書きを必ず付してください）、勤務先・所属（病棟）・役職と住所・自宅住所を必ず付記してください。
- 著者校正は原則として一度行います。共著の場合は、校正者と校正刷送付先（連絡先）を必ず付記してください。なお、校正の際には原稿を添付致しませんので、必ずコピーをお取りください。
- 採用決定論文の掲載は受付順を原則としますが、編集の都合上、多少前後することがあります。
- 掲載・採用論文の執筆者には、別刷30部（論文筆頭者宛）と掲載誌を1部贈呈致します。
なお、30部以上の別刷を希望する場合には、50部単位（実費請求）で製作致します。必要部数を校正の際にお知らせください。
- 論文原稿枚数：15～30枚以内（図表・文献を含む、図表は1点で原稿1枚に換算）

[執筆要項（厳守）]

- 手書きの場合は、400字詰原稿用紙を用い、横書き、楷書としてください。ワープロ原稿の場合は、20文字×20行（400字詰）でプリントアウト（必ず添付）し、データを入れたフロッピーディスクも併せてお送りください。データはできるだけMS-DOSのテキスト形式でお願いいたします。不可能な場合には、入力機種、ソフト名およびバージョンを明記してください。なお、いただいたフロッピーディスクは原則としてご返却いたしません。
- 漢字は常用漢字を原則としますが、よく使われる専門用語はこの限りではありません。
- 外国語、外国人名、地名等は原語のまま用い、活字体でお書きください。術語は必要に応じ（ ）内に

原語を付記してください。

- 数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位は、kg, g, mm, cm, ml, μ g などとしてください。
- 図、表、写真は本文中には入れず、1枚ずつA4判大の別紙に貼りつけてください。図、表、写真はそれぞれ別々に通し番号をつけてください。
- 図、表の挿入箇所は、本文原稿の右側欄外に、明確にご指示ください。
- 写真はキャビネ判の鮮明なものをお願い致します。カラー掲載の場合は、仕上り1頁につき1万円を負担していただきます。（スライドの場合は必ず紙焼を添えてください）

[文献について]

- 執筆者名は3名まで（4名以上は、他）記載してください。
- 文献の記載方法は以下のようになしてください。

【雑誌の場合】

執筆者：タイトル；サブタイトル。雑誌名、巻数（号数*）；ページ〔最初―最後〕、年号。

*通巻頁数の表記が無く、号数が無ければ検索できない場合、号数を表記してください。

例 中村薫：前立腺がん緩和ケア。臨床看護，29(1)：96-100，2003。

誌名を略記する場合、わが国の雑誌は『醫學中央雑誌』収載の略名に、外国の雑誌は、Index Medicus に従ってください。

【書籍の場合】

執筆者：論文タイトル。編者があれば編、書名；サブタイトル（シリーズ名）、版数（必要なもののみ）、発行所、発行地、発行年、論文の掲載頁〔最初―最後〕。

例 大浦武彦：褥瘡とは；寝たきりの予防と治療。真田弘美・編、褥瘡患者の看護技術；最新の知識と看護のポイント（臨床看護セレクション13）、第1版、へるす出版、東京、2003、pp.9-20。

- 引用文献は、本文引用箇所の右肩に出所順に番号を付け、本文末尾に一括してまとめてください。

<著作権>

- 他の文献より文章・図・表などを引用される場合は、あらかじめ著作権者の了解を得てください。その際、原著者との交渉は執筆者にてお願い致します。それらには出所（著者、書名・雑誌名、頁、発行年）を明記してください。

[原稿送付先]

〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3
（株）へるす出版「臨床看護」編集室